



INGING MOTORSPORT.



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

INGING NEWS PAPER 2013 VOL.07

TAKE
FREE
無料



水煙に惑う展開 HEAVY WET CONDITIONS

朝からの雨と水煙に揺れるサーキット



Race Report
Round.7 SUZUKA CIRCUIT 11/10 Final
2013年11月10日 鈴鹿サーキット

FUJI SPRINT CUP FUJI SPEEDWAY 11/23-11/24

Support by @cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.07 [インギング ニュースペーパー]

発行：株式会社インギング 本社：高田本郷
〒556-0011 大阪府大田区津島津島中1-1-25 高田本郷ビル5F
2013年11月発行 価格7号 755円+税

Race Report Round.7 SUZUKA CIRCUIT 11/10 Final

天候：雨(コース状況ウェット)決勝 Race1 20周 Race2 28周 2013年11月10日 鈴鹿サーキット



決勝日は曇り空。しかも雨脚は強まったり弱まったりを繰り返していた。スーパーフォーミュラの各マシンが第1レースのスタートイングリッドに並列グリッドウォークが始まるころにはいったん雨脚も小さくなっていくが、フォーメーションラップとともに強まり、コース上へピークウェットコンディションがスタートした。スタートと同時にコース上には強い空気が立ち上る。その中で4番手スタートの富本は、事故を巻き起こす。第1レースタイヤとなってしまった。他にも3台が1コーナーでコースアウトとなり、残れたレースを予備車が担当する。第2レースは、雨脚は再び強まり、オーブンラップを6番手が担当してスタート。雨脚には上空雲からしばしば雨が降る。平手は前半にトランスポンダー故障のトラブルを乗り越え、後半にレースを走り、ペースアップも図ることはできなかった。それでもレース序盤は奮闘し、4番手とのギャップを縮めるシーンも見せた。チェッ

カーを受けた。第2レースまでのインターバルは約2時間半。この間にチームスタッフは懸命の作戦で富本のマシンを修復。スタート直前のスタートイングリッドに39号車を繋ぎあがることができた。午前中に一時強しく降っていた雨も止んで、この頃にはうすづらとレコードライン上も雲が引いており、グリッド上ではスタートタイヤの選択が話し合われていた。上位集団がレインタイヤを履き、ウォームアップ走行でウェットタイヤを履いた平手の「雨天の走り具合を考えるとスリックタイヤでスタートした方がいい」というコメントから、MIU/CERUMO、INGINGの2台はスリックタイヤをチョイス。スタート直後のペースはウェットタイヤの方が良かったが、その差はすぐに逆転。ウェットタイヤでスタートした他のドライバーも早々にピットに戻りスリックタイヤに履き替えることとなった。両陣営がタイヤ交換の必要がある状態を察せ、平手は7周目にトップと、第5周までで再びトップを奪った。20周を終えたところで平手がタイヤ交換のためピットインし、10番手を獲得すると24周目にトップの上がない由をスーパーレイトク。この頃になると、両陣営内に向った空模様が見え、レース終盤

は大蛇の雨が落ちてくる。早々にタイヤを履ききれぬままに上位集団のドライバーが大きくペースを落としたり、早急なペースでクラッシュしていく中、比較的フレッシュなタイヤで走り続けた平手は6番手までポジションを上げてゴール。レース後にペナルティを科せられたドライバーがいいたため7位となり、シリーズ最終戦をポイント獲得で締めくくった。一方の富本は、雨の状況を踏まえながら両陣営よりも早くタイヤ交換を引きあげた。27周を終えたところでウェットタイヤに交換。残り1周だったが、この選択が功を奏し、平手の前でゴールすることに成功した。レース後、トランスポンダー未搭載のため1周遅れのペナルティを科されたが、結果で差をあらわしチームの進化を証明して見せた選手となった。

**朝からの雨にレース展開も荒れ模様
タイヤ交換のタイミングが重要となるシーンも。**

HEAVY WET CONDITIONS

Race1 Comment

38 平手 晃平 *Race Result Race1 5位/Race2 7位*

「予選結果があまり良くありませんでしたが、クルマの調子がいいのは分かっていたのでレースに向けて自覚を持っていました。今日は雨で非常に難しいコンディションでした。ウェットに耐えては過去のデータを参考にしなかったのですが、スタート直後の混乱をうまく逃げたらいよいよポジションに行きました。ペースも悪くなく、改めて私たちのチームのクルマはトップの3~4台に入るポテンシャルを持っていると実感しましたし、さらに自信を深めることができました。第2レースはもっとコンディションが悪くなりましたが、ウェットタイヤでスタートして7~8周まで自分のペースで走らせたのが良かったです。もう1周も走らせたかったです。今週末はもっと速く走りたいです。今週末はもっと速く走りたいです。今週末はもっと速く走りたいです。」



39 富本 雄資 *Race Result Race1 リタイア/Race2 15位*

「第1レースではスタートでわずかに出遅れたために、急に詰んだドライバーの動きに影響されてマシンを揺らしてしまいました。1コーナーを通過するような形で飛び出しましたが、その間に他車に接触し、マシンにダメージを受けたので、メカニックの皆さんに非難を申し込まれたのですが、チームがインターバルの間に必死に修復してくれたおかげで第2レースのグリッドにも乗ることができましたが、マシンバランスが狂っていて予選の時のような速さを出ることができませんでした。予選の内容が非常に良かっただけに、今日の結果がとても悔しいです。今シーズン全大会から最終に向けて予選の速さを出すべく準備はできています。予選でスピードを出してレースはいいのですが、スタートでの遅れは避けたいです。予選でスピードを出してレースはいいのですが、スタートでの遅れは避けたいです。予選でスピードを出してレースはいいのですが、スタートでの遅れは避けたいです。」



監督:立川 祐路 *TEAM DIRECTOR*

「週末を過ぎて、うまく走れなかったかなと感じています。予選では残念な結果にはなったものの調子の良さも見られたとしますが、実力的にはもっと前のポジションにいられたはずですが、予選で予選がなくて予選のグリッドになってしまいました。それに加えて、決勝はレインコンディション。最後までペースを維持することができませんでした。しかし、きちんと実力を出し切り、最終にしっかりとポジションを確保していただければ満足です。JAF GPではここまですべてのクルマを走らせられるというものを走らせたいです。決勝に上りたいと思います。」

